

# H26 防災活動に関するアンケート調査結果

調査機関 流山市防災危機管理課  
(独) 防災科学技術研究所

## 1. 実施目的

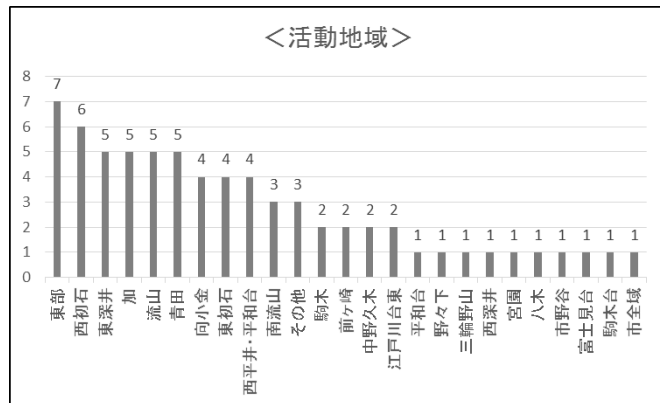
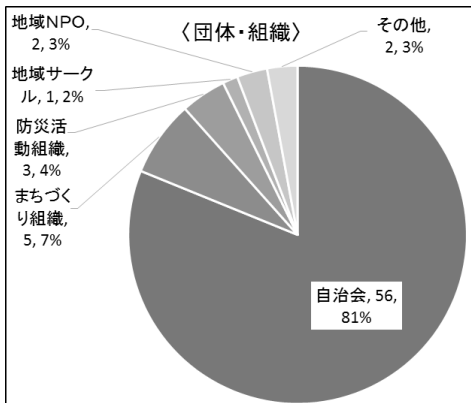
「災害に強い地域づくり実践プログラム」を支援するために、計3回の「防災活動に関する相談会」を予定している。そこで、本調査では、地域の皆様の自主的な防災活動において抱えている課題や必要な情報などを予め調査し、当相談会の実施に向けた参考資料としての活用を目的として実施した。

## 2. 実施詳細

- ・実施日：2014年8月30日（「災害に強い地域づくり実践プログラム」説明会）
- ・対象：流山市内の地域コミュニティ（説明会参加者）
- ・回収/配布：68/151（回収率45%、説明会場にて配布し、後日回収）

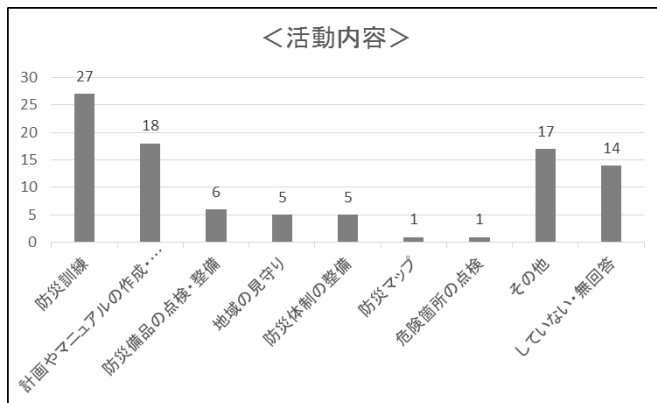
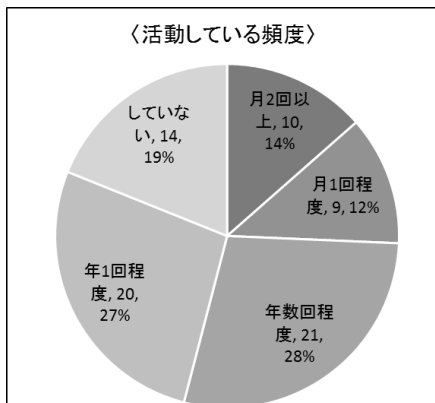
## 3. 実施結果

### 1) 参加団体・組織と活動地域



※その他：地区社協、マンション理事会

### 2) 団体・組織が行っている防災活動の頻度と内容



※その他：集会、話し合い、放射線測定、パトロール、講演等

### 3) 防災活動上の抱えている課題や必要な情報

- ・住民の参加
  - －防災組織がない、組織率が低い
  - －防災活動への参加者の不足（高齢化等）
  - －自治会組織率が低い・自治会員の参加
  - －人材発掘（機材利用等）の有効な方法が判らない
  - －マンションの特色をふまえた防災組織づくり
- ・地域の協力
  - －他の自治会との協力、地域内の連携、自治会との協力、マンション同士の協力
- ・具体的な活動
  - －居住者や要援護者情報の把握・整理・対応マニュアル作成
  - －地域の防災マップ（避難ルート）づくり
  - －自治会内の空や対策、住民への広報
- ・防災意識・知識
  - －危機感が薄い、防災知識の不足
- ・活動の継続
  - －毎回同じような内容の訓練
  - －防災計画見直し、活動構成員の継続
- ・資機材の整備
  - －防災倉庫がない、水・食料の保管スペースがない、資金不足
- ・その他
  - －具体的な活動に結びつかない
  - －公的会合への参加以外にはほとんど活動していない

### 4) 実践プログラムに対する期待や要望

#### ●市に対する期待や要望

- ・組織体制
  - －共助体制の確立には大きな問題があり難しい。自治会員の参加誘導
  - －防災活動の自治会、管理組合の区別の削除、撤廃
  - －マンション住民が地域の中で孤立している現状への対策
  - －自主防災組織は限界があり、地域の想定被害に対応ができる体制方針の明示
  - －災害に対する情報の早期発信体制確立。孤立者支援体制の充実化
  - －避難所利用アンケート結果を踏まえた「避難所運営計画」の作成と自治会の連携支援
- ・防災意識・教育
  - －地域住民に対する防災意識づくりや防災教育。個別地域での出前講座の実施
  - －大きなハザードマップを各自治会に貼っておきたい。
  - －ハザードマップ等について地域毎に説明
  - －HUGの活用法を知りたい
- ・資機材

- －自治会が主体的活動に対する「市」の強力な支援を期待
- －小規模でも自治会に防災備蓄等の機材の設置。設備に関する補助金
- －浸水等に弱い所への土のうなどの提供など
- －防災情報発信のインフラ設備を設置
- ・e コミ流山
  - －e コミ流山実践活用（知らなかった。非常によく出来ている。）
  - －e コミ流山の活用方法。特に要支援者の e 防災マップづくり
  - －e コミ流山の長期間運用継続希望
  - －e コミマップを活用して豪雨時の浸水状況を表示して欲しい
- ・その他
  - －「地区防災計画」の中に防災マップ（実践プログラムで勉強）を取り入れたい
  - －災害発生の可能性の高い地域には家を作らない
  - －避難場所が遠くて収容能力が低い
  - －区画整理などで森や林をなくす。自然の環境をなくして欲しくない
  - －パソコン等の機器を使っでの防災活動の展開は難しい
  - －自主防災会活動支援や流山市総合防災訓練への全市民参加（活動）

## ●防災専門家等に対する期待や要望

- ・組織体制
  - －各自治体を越えた防災マップの作成方法
  - －自主防災の限界に対する代替案について市や地域を支援
- ・防災意識・教育
  - －研究員による自治会のコンサルや出前講座、自治会に対する防災マップ作成の訪問指導
  - －定期的な啓蒙活動の実行
  - －「マンション住民が地域の中で孤立している現状への対策」へのノウハウ提供
  - －正直なところあまり知識がなかった
  - －自治会ごとのハザードマップの提供、ハザードマップの明確な根拠情報の提供
  - －HUG の活用法
- ・情報提供・公開
  - －専門的知識や情報等の（細やかかつ強力な）提供
  - －HP の情報公開の充実、防災関連情報の無料提供等
  - －各種の情報提供&活動に対する支援
  - －危険予知情報の高度化システムの構築
- ・その他
  - －今年も 1 年間参加したい。地域防災に役立たせたい。
  - －取組みの地域防災への取り入れ、地域防災対策への支援
  - －放射能に対するケア（避難所の市町村間連携）
  - －防災科研の見学、支援活動の継続